

武蔵野市立武蔵野芸能劇場ほか 2 施設の指定管理者公募
に関する審査講評

武蔵野市指定管理者候補審査委員会

令和 6 年 8 月

1 公募の目的

武蔵野市では令和 7 年度から令和 11 年度までの「指定管理者制度に関する基本方針」の中で、指定管理者の選定にあたっては、公の施設の設置目的を効果的に達成するために、原則公募とすることとしている。

武蔵野芸能劇場、武蔵野スイングホール、かたらいの道市民スペースについては、市民の文化活動の振興を図るという共通の目的を持つ施設であり、より魅力的な施設の活用方法について提案を求めるために、3館一括で指定管理者を公募する。

2 選定結果

最優秀提案者 アクティオ株式会社

3 選定経過

(1) 第1回審査委員会

令和6年2月6日(火)に第1回審査委員会を開催し、募集要項、要求水準書、審査基準、スケジュール等について確認し、必要な修正を行った。

(2) 申請者の応募状況

令和6年4月1日（月）に公募を開始し、5月1日（水）から5月9日（木）にかけて指定申請書を受け付けた。4者の提出があり、事務局にて提出書類を確認した結果、すべての申請者が参加資格を満たしていることが認められた。

令和6年6月18日（火）から21日（金）にかけて提案書類の受付を行い、4者から提案書類が提出された。

(3) 第2回審査委員会

令和6年7月11日(木)に第2回審査委員会を開催し、4者のプレゼンテーション及びヒアリングを行った後に審査を行い、各委員による4者の評価が提出された。各委員による評価の合計得点を算出した結果、以下のとおり、最優秀提案者と次点者を選定した。

なお、審査は匿名で行い、事業者名は審査終了後、事務局より報告した。

審査結果 最優秀提案者 1,021.5 点 アクティオ株式会社

次点者 1, 010.2 点

3位 837.2 点

4位 791.7 点

評価の内訳

評価項目（配点）	最優秀提案者	次点者	3 位	4 位
(1) 施設効用の最大化(792 点)	667.0	645.0	502.0	503.0
(2) 効率的な経費執行(240 点)	200.0	209.7	204.7	194.7
(3) 安定的・確実な業務の履行(168 点)	154.5	155.5	130.5	94.0
合計(1,200 点)	1,021.5	1,010.2	837.2	791.7

4 武蔵野市指定管理者候補審査委員会 委員 (50 音順、令和 6 年 7 月現在)

氏名	所属・役職等	
鵜川 正樹	公認会計士	
鬼木 和浩	日本文化政策学会理事 横浜市にぎわいスポーツ文化局文化振興課長（主任調査員）	
小野田 朋恵	弁護士	
川崎 一泰	中央大学総合政策学部教授	委員長
高宮 知数	立教大学大学院社会デザイン研究科講師 東日本国際大学地域振興戦略研究所客員教授	副委員長
毛利 悦子	武蔵野市市民部市民活動担当部長	

5 公募の概要

(1) 対象施設

武蔵野芸能劇場、武蔵野スイングホール、かたらいの道市民スペース（3施設一括公募）

(2) 指定期間

令和 7 年 4 月 1 日～令和 12 年 3 月 31 日（5 年間）

(3) 経過及び今後の予定

時期	内容
令和 6 年 4 月 1 日	公募開始（募集要項等の公表）
令和 6 年 6 月 21 日	提案書類の提出締切り
令和 6 年 7 月 11 日	プレゼンテーション・ヒアリングの実施（非公開）
令和 6 年 7 月 24 日	指定管理者候補者との協議（仮協定の締結）
令和 6 年 7 月 26 日	市ホームページで公募審査結果公表
令和 6 年 9 月	指定管理者の指定に関する議案上程
令和 6 年 10 月～令和 7 年 3 月	協定締結、業務引継
令和 7 年 4 月 1 日	次期指定管理期間の開始

6 審査の講評

今回の公募対象施設は、主に貸館事業を中心とし運営されてきた施設であるが、複数の事業者から新たな意欲ある提案が提出されたことから、この公募には大きな意味があったと考えられる。

提案内容の審査においては、利用の促進に資する方策や芸術文化事業への取組、利用者の満足度の向上に資する方策、市及び地域との連携などを重視し、プレゼンテーションにおいては、本事業に対する強い熱意・意欲とともに、分析力や説明力の高さのほか、ヒアリングに対する回答が明確であるかを評価した。

以上を踏まえ、総合的に評価を行った結果、最も優れた提案者を選定した。

なお、各提案者における評価の概要については、以下のとおりである。

(1) 最優秀提案者について

各施設の利用促進策や予約システム、チケット決済システムの利便性を評価した。市民とつくり上げる事業、地域と連携した事業、地域での雇用機会の創出など、地元密着の印象が強く、体制の厚さ、経験の豊かさなども評価した。多様な芸術文化事業の視点もよく、駅前の立地を意識した提案は期待できる。

これらの点を踏まえ、総合的に評価を行った結果、本事業に求められる高い能力を有する最も優れた提案者として選定した。

(2) 次点者について

チャレンジが多い点は評価が高く、舞台技術系の体制についても評価した。職員の待遇を重視している点も体制の厚さにつながるため評価した。

ただ、新しいコンセプトや連携については具体的な提案が乏しいと思われ、本市における地域との連携の実現性にもやや不安が残った。

(3) その他の提案者について

3位の事業者は施設の管理運営に安定感があり、実績も評価できるが、もう少し現状に捉われない新たな視点での提案が欲しかった。また、市民にどうアピールするかという視点がやや足りないようにも感じられた。

4位の事業者は芸術文化の振興に想いが強く、熱意ある提案に共感する部分は多かったが、施設の管理運営の面で不安が残った。

審査は、書類審査とともにプレゼンテーション及びヒアリングを実施し、十分な意見交換を行い厳正に行った。提案のレベルが高く、いずれも優れた提案であると認められた。特に上位2者の評価は拮抗したが、各委員で議論を重ねた上の総合的な評価の結果として最優秀提案者を選定した。

最優秀提案者には、今後、市と真摯に協議を行いながら、魅力ある施設の実現に向け、如何なくその力を発揮していただきたい。

結びにあたり、公募の限られた期間の中で、多大な時間と労力を費やし、優れた提案をまとめあげていただいた提案者の皆様には、ここに深く感謝し、心より敬意を表したい。

武蔵野市指定管理者候補審査委員会 委員長 川崎 一泰